

簡易無線機取扱マニュアル

2015年8月5日制定

2016年11月1日改正

1 目的

このマニュアルは、学校法人宮城学院簡易無線運用要項（以下「要項」という。）第15条の規定に基づき、簡易無線機の取扱いについて、必要な事項を定めています。

2 通信の運用方法

(1) 使用チャンネル（CH）の統制

円滑な非常通信を確保するため、法人及び設置学校の無線局について、図1「宮城学院無線統制図」のとおり使用チャンネルを統制します。この場合、基地局間及び基地局・携帯局間の交信を原則とし、携帯局間の交信は、できるだけ避けてください。

(2) 非常通信の手順

的確な非常通信を確保するため、下記の手順により運用します。

① 無線機の受渡し

設置学校

各設置学校は、参集した各班に無線機を配付し、使用チャンネルを指示。

② グループ本部等設置の報告

本部 ← 設置学校

各設置学校は、グループ本部を開設した旨を緊急対策本部に報告。

グループ本部 ← 医療救護班

大学及び中高の医療救護班は、臨時救護所の開設をグループ本部に報告。

③ 避難状況・被害状況等の報告

グループ本部 ← 現場各班

消火物資班、避難誘導班、安否確認班は、任務に応じ、災害発生や避難、被害等の状況を適宜グループ本部に報告。

大学本部 ← さくら寮、青桜シャロン寮

さくら寮、青桜シャロン寮は、災害発生や避難、被害等の状況を適宜大学本部に報告。

④ 救護状況の報告

グループ本部 ← 医療救護班

医療救護班は、負傷者の状況や臨時救護所の状況等を適宜グループ本部に報告。

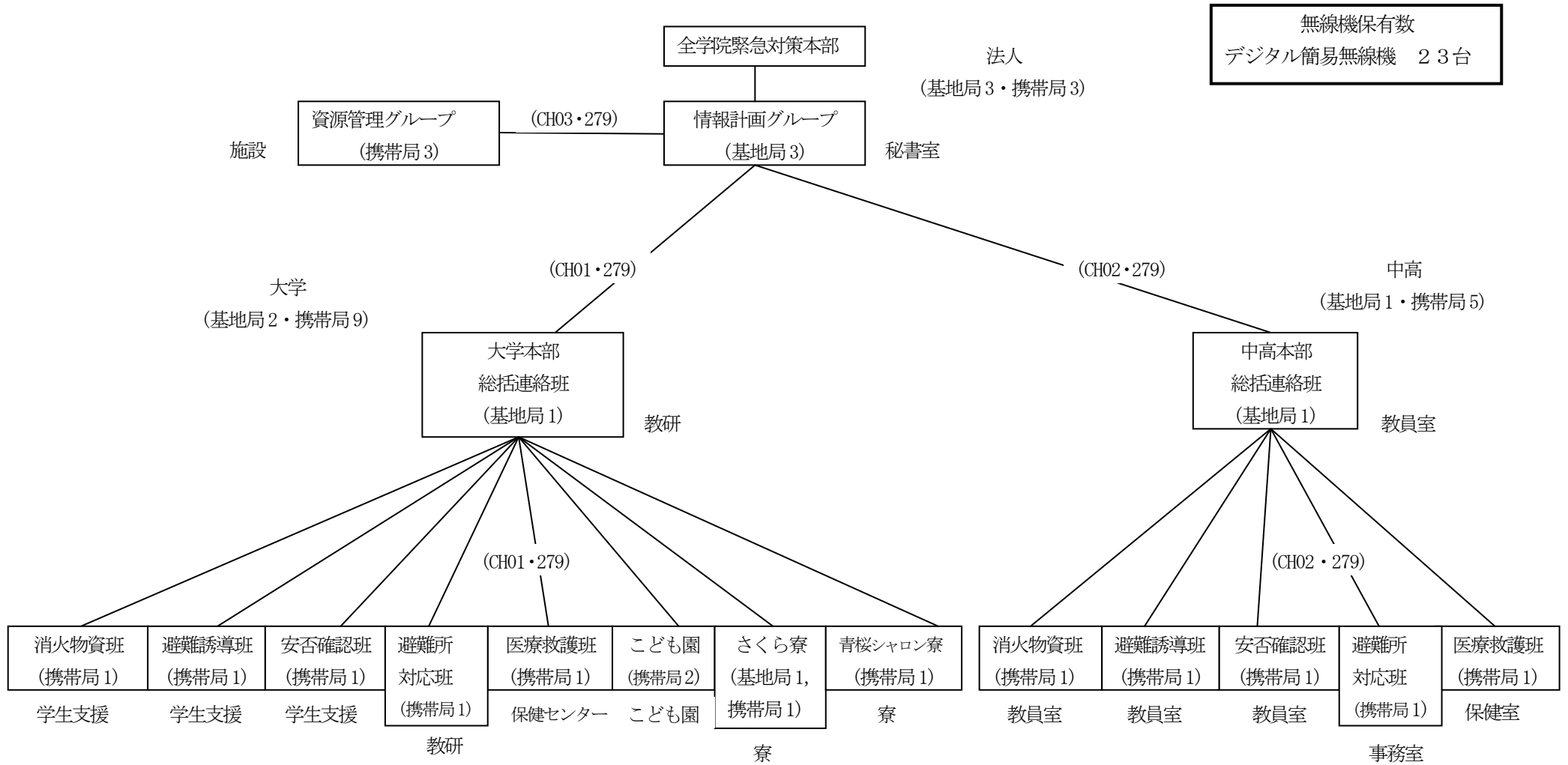
⑤ 避難所の状況報告

グループ本部 ← 避難所対応班

避難所対応班は、帰宅困難者の状況や避難所の設置、備蓄物資配布等の状況を適宜グループ本部に報告。

※ 緊急対策本部は、設置学校の各班とグループ本部間の交信内容を傍受し記録します。

図1 宮城学院無線統制図



※ 認定こども園は、大学の無線統制網に入ります。

3 無線機各部の名称と機能

(1) 使用無線機

携帯型デジタル簡易無線機 IC-DPR6 (Icom Inc.)

(2) 前面部/側面部



① [電源/音量] ツマミ

電源の「ON」 / 「OFF」と音量の調整をします。

※ 右に回すと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。

② [送信/受信] ランプ

[PTT (送信)] スイッチを押しているあいだ (送信中) は赤色、電波を受信しているあいだは緑色に点灯します。

③ [PTT (送信)] スイッチ

[PTT (送信)] スイッチを押すと送信状態、離すと受信状態になります。

※ 電波法により「連続送信 (通話状態)」が5分を超えると、通話を自動的に切断します。

④ [モニタ] スイッチ

押しているあいだモニター機能が動作します。

⑤表示部

無線機の使用状態を表示します。

⑥ [EDIT] キー

長く (約1秒) 押すごとに、送信出力 (5W (High) / 1W (Low)) が切り替わります。

⑦ <着脱> レバー

バッテリーパックの取り付けや取りはずしをします。

⑧ [▼] (ダウン) キー / [▲] (アップ) キー

通話チャンネルの設定内容が切り替わります。

⑨ [FUNC/⇄] キー

- ・ 短く押すごとに、表示項目がユーザーコード→秘話機能→通話チャンネルの順に切り替わります。
- ・ 長く (約1秒) 押すごとに、ロック機能の「ON」 / 「OFF」が切り替わります。

⑩ マイクロホン

小型のマイクロホンを内蔵しています。

⑪ スピーカー

小型のスピーカーを内蔵しています。

⑫ 保護カバー

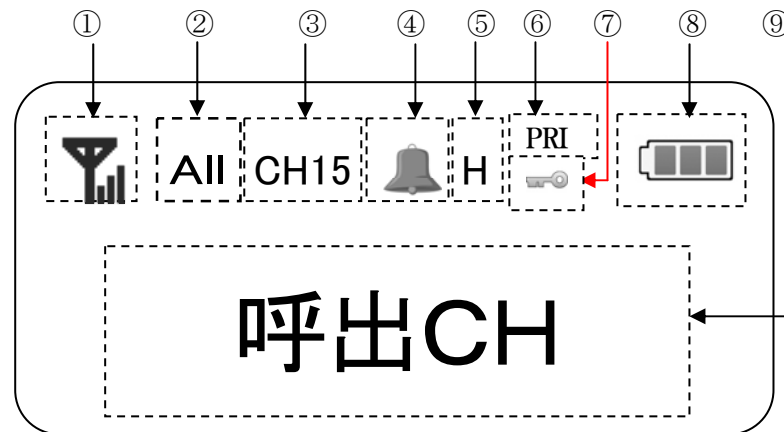
⑬ 〈プライベートチャンネル/緊急呼び出し〉 ボタン

短く押すごとに、「ピピッ」と鳴って、プライベートチャンネル表示と通話チャンネル表示が切り替わります。

⑭ アンテナ

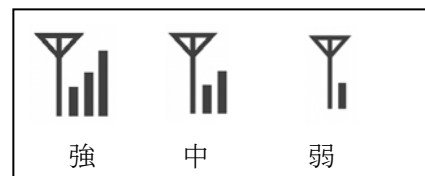
電波を発射、または受信する部分です。

(3) 表示部



① 電波状態表示

受信している電波の強度を、右図の3段階で表示します。



② 個別呼び出し (All/) モード表示

個別呼び出し機能が設定されているとき表示します。

All : 全局呼び出しとなる項目が表示されているとき

: 相手からのグループ呼び出しを受けたとき、着信を許可するグループ番号が表示されているとき

③ 操作状態の表示



通話チャンネルを③の部分に表示します。

④ (ベル)

通話相手から個別呼び出し (着信) を受けたとき点滅します。

⑤ [H/L (5W/1W : 送信出力)] 表示

各通話チャンネルの送信出力 (High/Low) を表示します。

- ⑥ [PRI (プライベートチャンネルスキャン)] 表示
プライベートチャンネルスキャン中に表示します。
- ⑦  (ロック機能)] 表示
ロック機能が動作中のとき表示します。
- ⑧  (電池残量)] 表示
電池残量を4段階で表示します。
- ⑨ [相手局番号/設定内容] 表示
音量、通話チャンネルなどを表示します。

4 無線機の操作方法

個別通信 (相手と同じ通話チャンネルに合わせるだけ) の手順

- ① 電源を入れる
 - ・ [電源/音量] ツマミを時計方向に、12時の位置まで回します。
- ② 音量を調整する
 - ・ [電源/音量] ツマミを時計方向に回すと、音量が大きくなります。
 - ・ 相手の音声聞きやすい音量レベルに調整してください。
- ③ 通話チャンネルを合わせる
 - ・ [▼] (ダウン) キー、または [▲] (アップ) キーを繰り返し押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます (図1を参照)。
- ④ [PTT (送信)] スイッチを押す
 - ・ [PTT (送信)] スイッチを押しながら、マイクロホンに向かって通話相手に呼びかけます。
 - ・ [PTT (送信)] スイッチを押している間は、[送信/受信] ランプが赤色に点灯します。
- ⑤ 相手の音声を受信する
 - ・ [PTT (送信)] スイッチを離すと待ち受け状態になり、相手局が送信すれば、受信した音声がかかります。
 - ・ 受信中は、[送信/受信] ランプが緑色に点灯し、受信している電波状態を表示します。
- ⑥ 通話を続ける
 - ・ 送信と受信は交互に行います。
 - ・ 相手が送信しているときは、[PTT (送信)] スイッチを押しても、混信防止機能が働いて送信できません。相手の通話が終了してから送信してください。
- ⑦ 電源を切る
 - ・ 使用後は、[電源/音量] ツマミを反時計方向に「カチッ」と鳴るまで回します。

※ グループ通話などその他の通信方法は、取扱説明書を参照してください。

5 送受信時のポイント

- (1) 通話は、できるだけ短く、はっきりと行います。
1回の送信で連続通話時間が5分になると、警告音が「ブッ」と鳴って、自動的に送信を停止します。
- (2) 送信の最初に、表1「無線局呼出名称等一覧」に掲げる自局の呼出名称を告げ、相手局の呼出名称を呼びます。
送信状態から受信状態に移行する際には、最後に「どうぞ」と言って、相手局の送信を促します。
(例) 「大学本部から消火物資班、どうぞ」
「こちらは消火物資班です、大学本部どうぞ」
- (3) 建物のかげ・内部等では、通話できにくい場合があることから、場所を移動するなどして、通信状態を確保してください。

表1 無線局呼出名称等一覧

設置学校等	担当班	局	呼出名称	使用CH
全学院緊急対策本部	情報計画グループ	基地局	緊急対策本部	01, 02, 03
	資源管理グループ	携帯局	資源管理班	03
大学本部	総括・連絡班	基地局	大学本部	01
	消火・物資班	携帯局	消火物資班	
	避難誘導班	携帯局	避難誘導班	
	安否確認班	携帯局	安否確認班	
	避難所対応班	携帯局	避難所対応班	
	医療・救護対応グループ	携帯局	医療救護班又は臨時救護所	
	こども園	携帯局	こども園	
	さくら寮	基地局	さくら寮	
		携帯局	避難誘導班	
青桜シャロン寮	携帯局	シャロン寮		
中高本部	総括・連絡班	基地局	中高本部	02
	消火・物資班	携帯局	消火物資班	
	避難誘導班	携帯局	避難誘導班	
	安否確認班	携帯局	安否確認班	
	避難所対応班	携帯局	避難所対応班	
	医療・救護対応グループ	携帯局	医療救護班又は臨時救護所	

6 無線機の充電等

(1) 充電の方法

- ・ 充電中は、無線機の電源を切ってください。
- ・ 充電中は、充電ランプが橙色に点灯します。
- ・ 充電が完了すると緑色に点灯します。
- ・ 充電が完了した状態で放置していても、バッテリーパックの電圧が下がったときは、自動的に再充電を開始します。
- ・ バッテリーパックは、使い切らずに継ぎ足し充電が可能です。常に満充電で使用してください。

(2) 使用時間と充電時間

	パワーセーブ※	ON	OFF
使用時間	送信出力5W	約12時間	約10時間
充電時間	急速充電器BC-208使用時	約3時間	

※ パワーセーブとは、何も操作しない状態が10秒を超えると、自動的に動作を休止状態にし、電池の電流消費を抑える機能。